

映像発信派のための

Photo: Nakamura Tohru

デジタルビデオカメラ 購入ガイド

従来の細い回線では、映像などデータサイズの大きい転送には無理があった。しかし、CATVインターネットやADSLサービスの普及によって一気にブロードバンド時代が到来し、映像配信が手軽になった。そこで脚光を浴びているのがDVカメラだ。高い映像クオリティーと、パソコンとの親和性の高さを持つDVカメラが、インターネットを映像メディアに変貌させる。 森本秀人+編集部

現在のビデオカメラは、5年ほど前からそれまでのアナログ記録形式からデジタル記録方式に変わり、現在では市販されているビデオカメラのほとんどがデジタルビデオ（DV）カメラだ。

DVカメラの特徴は、記録画質もはるかに高画質で、取り込みやDVカメラ同士の転送などによる映像の劣化が非常に少ないことだ。また、DVカメラにIEEE1394インターフェイスが装備されているため、パソコンへの取り込みもスムーズだ。わずかな投資でDVカメラの編集ソフトを用意すれば、DV映像を編集して、インターネット配信に適した映像データを作成することも簡単に行える。

さらに、DVカメラは映像だけでなく静止画の撮影機能も備えており、幅広いコンテンツ作りに利用できる。DVカメラは、まさにインターネットで映像を発信するのに必要不可欠のアイテムだ。



多用途に使えるDVカメラ

現在のホームビデオは、デジタルビデオカメラが主流。アナログビデオカメラに比べ、色の情報量が3倍もあり、非常に美しい映像が撮れる。また、IEEE1394準拠のDV端子を備えているため、ダビングしても画質の劣化がほとんどなく、パソコンとの接続もスムーズ。高度なビデオ編集も自由自在だ。

デジタルビデオ(DV)カメラとは?

DVカメラが登場したのは1995年9月。まだ5年ほどの歴史しかないわけだが、いまやビデオカメラの販売台数の9割以上がDVカメラという状況にまで急成長した。DVカメラがこれだけ急速に普及した理由は、Hi8やVHS-Cなど、かつてのアナログビデオカメラよりも小型軽量で高画質だからだ。

プロ用のビデオ機器と同様に、DVカメラは映像を輝度信号と色差信号に分けて記録していて、色の帯域はアナログビデオの3倍もあり、色にじみや色ムラがほとんどない。水平解像度も500本と高く、被写体の細部までクッキリと描写できる。音声も、12ビットあるいは16ビットのPCM録音を行うので、非常に高音質なのが特徴だ。

しかも、デジタル記録ならではのエラー訂正能力を備えているので、テープからの信号の欠落で起きるドロップアウトが非常に少なく、ジッターと呼ばれる像の揺らぎも生じない。そのため、かつてのアナログビデオカメラよりも、格段にクリアで美しい映像が撮れるのだ。

また、DVカメラに使われているビデオカセット(ミニDVカセット)は、66×48×12.2mmと非常にコンパクト。その分、カメラもコンパクトに設計できるし、撮影済みのテープが増えてきても場所をあまり取らないのが魅力だ。

パソコンとの親和性が高いDVカメラ

初期のDVカメラを除けば、ほとんどのDVカメラに、IEEE1394準拠のDV端子が装備されている。IEEE1394は、FireWireあるいはi.Linkとも呼ばれる高速シリアル転送の規格で、最近ではパソコンでもポピュラーとなりつつあるインターフェイスだ。DVカメラ同士をIEEE1394ケーブルでつなげば、テープに録画した映像をデジタルデータでやりとりできるので、画質や音声をほとんど劣化させずにダビング(コピー)したり、カット編集

したりできる。

さらにIEEE1394インターフェイスを搭載したパソコンを使えば、ビデオ映像をハードディスクに取り込んで複雑なプログラム編集をしたり、タイトル合成や特殊効果をかけたりと、プロ顔負けの編集作業も自由自在だ。記録形式がそもそもデジタルであるため、パソコンへの取り込み時のみならず、編集作業による映像品質の劣化も少ない。このようにしてパソコンで編集した映像をDVカメラに書き戻すことも可能で、その際も、映像の品質の劣化は最小限に抑えられる。

動画を重視するならやっぱりDVカメラ

最近「動画も撮れるデジカメ」が増え、静止画と動画の兼用機として使うことも多いだろうが、DVカメラと比べると画質は粗く、フレームレートも低いので動きもギクシクシしていてごちない。また、ズーム倍率が低いうえに、連続で数秒しか録画できないのは不便だ。音声もモノラルで質が悪い。

デジカメの動画撮影機能は、ビデオメールなどをお手軽に撮るための補助的なもので、ビデオカメラとは似て非なるものなのだ。

やはり、きちんと映像を撮りたいのであれば、デジカメの補助的な動画撮影機能に満足せず、DVカメラを用意すべきだ。DVカメラなら撮影時間は数十分単位で可能だし、映像の品質や画面サイズ(720×480ドット)も十分なものが得られる。また、DVカメラはズーム倍率が10~20倍程度と高倍率であるため、被写体を大きく映せるのも魅力の1つだ。

最近ではDVカメラの静止画機能も向上しており、デジカメと同じようにメモリーカードに静止画を記録する。100万画素を超えるCCDを搭載した機種も増え、XGAサイズの静止画も撮れるようになってきた。銀塩フィルムの画質に迫りつつあるデジカメに比べると見劣りするかもしれないが、高倍率ズームは捨てがたい。インターネットの素材用として映像も静止画も撮りたいが、2台持つのが面倒ならやはりDVカメラが便利だ。

DVカメラとアナログビデオカメラの比較

| | DVカメラ | アナログビデオカメラ |
|------------------|----------|----------------------|
| 画質 | | |
| 音声 | | |
| 静止画撮影機能 | あり | なし |
| テープカセット | コンパクト | コンパクト(Hi8)/かさばる(VHS) |
| パソコンとの接続(動画) | IEEE1394 | - |
| パソコンへの動画の取り込みやすさ | 手軽 | アナログ取り込みボードが必要 |
| 取り込んだ映像の画質 | 高画質 | 取り込みボードやパソコンの性能による |
| 編集による画質の劣化 | ほとんどない | 編集やダビングをするたびに劣化する |



DVカメラ選択のポイント

DVカメラの変遷を振り返ってみると、画質を落とさずにどれだけ小型・軽量化できるかが競われてきた。小型・軽量化が一段落した現在は、バッテリーの持ちやDV静止画の高解像度化などで差別化を図っている。ここでは、DVカメラを選ぶ際のおもなチェックポイントを紹介しよう。

CCDで選ぶ

DVカメラの画質はCCDのタイプでほぼ決まる。もっとも高画質なのは、3CCDタイプ(258ページ参照)で暗い場所でもきれいな色で撮れる。プロシューマー向けの製品だ。

次がメガピクセルCCDを搭載した機種。高解像度静止画を撮影するためにレンズ性能も高く、動画撮影でも画素数の多いCCDで撮影した像を縮小して記録するので、解像力が高くシャープな写りだ。

これ以外の機種では、CCDの有効画素数に注目しよう。DVカメラの映像は720×480ドットで記録されるので、有効画素数が34万画素以上ある機種が高画質タイプだ。

ズーム倍率で選ぶ

ズーム倍率は、デジタルズームではなく光学ズームの倍率で選ぶのが鉄則。デジタルズームは、単なる画面の部分アップなので画質が大幅に低下する。ボディやレンズに表記されているのは、デジタルズーム併用時の倍率であることも多いので、必ずカタログで光学ズーム倍率をチェックしよう。

手ブレ補正で選ぶ

DVカメラに搭載されている手ブレ補正には、光学式と電子式の2種類がある。画質への影響が少ないのは光学式だ。レンズ内に組み込まれた光学系を動かして手ブレを抑える。静止画撮影時でも有効だ。

一方、電子式手ブレ補正は、CCDの切り出しエリアを動かすことでブレを減らす。切り出しによる画質低下を防ぐため、画素数の多いCCDを使用する。有効画素数が34万画素以上なら、画質にこだわったタイプだ。ただし、電子式手ブレ補正は、シャッター速度が1/60秒から1/100秒にアップするので、その分暗い場所に弱い。また静止画撮影時には手ブレ補正が効かない。

静止画撮影機能で選ぶ

DVカメラで差異が目立つのが静止画撮影機能。現在はデジカメと同じようにメモリーカードに記録できる機種が主流だ。従来はVGAサイズの撮影だったが、最近ではメガピクセルCCDの搭載によってXGAサイズ以上の静止画を撮影できる機種も存在する。

使い勝手とデザインで選ぶ

DVカメラにはタテ型とヨコ型がある。ヨコ型はホールディング性も良く、大きな液晶モニターを備え、大容量バッテリー装着時にもデザインや重量バランスが崩れにくい。一方、タテ型はコンパクトさやデザインで選ばれる。このほか、ズームレバーの操作性やバッテリーの持続時間、ビューファインダーの見やすさなどもチェックしよう。

付加機能で選ぶ

最近のDVカメラはアナログビデオ入力対応機種が増えてきた。Hi8やVHSなどのビデオ映像をDVテープに録画できる機能だ。

また、DVテープに録画しなくてもアナログビデオ入力した映像をDV端子に出力できるのが、アナログコンバーター機能だ。パソコンにアナログビデオ映像を入力するのに便利だ。

そのほか、撮影時に役立つのがエディットサーチ機能。カメラモードのまま一時的に録画したテープを再生できる。撮り直すためにテープの頭出しをするのに重宝する。

Product Showcase



メモリーカードスロット

DVカメラの現行機種には、ほとんどにIEEE 1394端子が装備されている。また、最近の機種では静止画を取り出すためのメモリーカードスロットや、パソコンとの接続端子も用意されている。

IEEE1394端子



各種入力端子





DVカメラの映像をパソコンに取り込む

IEEE 1394 は高速シリアル転送の規格だ。最近ではIEEE 1394 対応のハードディスクやCD-R などのストレージ機器が
続々と登場している。DV カメラの「DV 端子」というのはもともとIEEE 1394 に準拠しており、撮影したビデオ映像をデ
ジタルデータとして画質を劣化させずにパソコンに取り込める。DV カメラはもはやパソコンの周辺機器の1つなのだ。

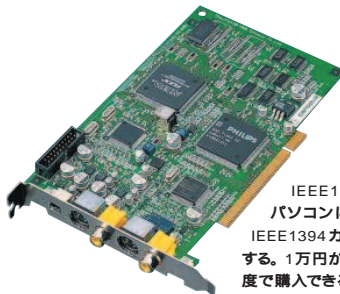
DVカメラから動画を取り込むには

ソニーのVAIO やアップルのiMacDV など、標準でIEEE 1394 を装備し、DV ビデオ編集に対応した機種も増えつつあるが、それ以外のパソコンでも、IEEE 1394 インターフェイスボードを増設すれば、DV ビデオの編集が楽しめる。ウィンドウズ98SE / Me / 2000 パソコンであれば、ビデオ編集ソフトやケーブルが付属したパッケージが、1万円から2万円前後で買える。また、DV のデータは9分で2Gバイトと大きいので、空き容量が少ない場合はハードディスクも増設しておこう。

DV カメラの映像をパソコンに取り込むには、カメラのDV 端子とパソコンのIEEE 1394 端子をIEEE 1394 ケーブルでつなぎ、ビデオ編集ソフトでキャプチャーするだけ。また、カメラのDV 端子は4ピンなのに対し、パソコンのIEEE 1394 端子は6ピンのものが多い。カメラのDV 端子は、電源供給の2ピンが省略されているためだ。そのため、IEEE 1394 ケーブルには、6-6ピン、6-4ピン、4-4ピンの3種類が用意されているが、ほとんどの場合、IEEE 1394 ボードのパッケージにDV カメラ接続用のケーブルが付属している。

なお、インターネットで動画を送るには、DV

形式の動画データではあまりに大きすぎるので、MPEG やMotionJPEG など、サイズの小さなデータに変換する必要があるが、ビデオ編集ソフトで変換するのは結構時間がかかる。そのため、テレビでの鑑賞に耐える



IEEE 1394 のないパソコンには別売のIEEE 1394 カードを装着する。1万円から5万円程度で購入できる。



IEEE 1394 ケーブルの端子には6ピンと4ピンのものがある。

高画質のビデオ編集を行うのであれば、取り込み時からMPEGのビデオキャプチャーユニットで、アナログのビデオ信号を入力したほうが手取り早いということも覚えておこう。



DV 映像の取り込みは、DV 編集ソフトを使う。上はプロ向けのAdobe Premiere(市場価格8万円前後)、下はジャストシステムのMegaVi DV(9,800円)。

DV静止画をパソコンに取り込むには

初期のDVカメラは静止画もテープに記録していて、専用のパソコン接続キット経由でパソコンに静止画を転送し、動画と同様、ビデオキャプチャーしたものから1カットずつ抜き出し、静止画として保存するのが一般的だった。

しかし、最近ではメモリーカードに静止画データを記録するDVカメラが増えており、デジカメと同じようにPCカードリーダー経由で静止画を読み込むようになってきた。また、USB 端子を装備するDVカメラも登場しており、ますますデジカメ的になってきた。

最近ではメガピクセルCCDを搭載することで高解像度の静止画が撮れる機種も増えつつあるが、ウェブサイト用の静止画素材として320 x 240 ピクセル以下の大きさで使うのな



静止画のパソコンへの転送は、メモリーカードを使って行うことが多い。これはメモリースティックとPCカードアダプター。

ら、動画を静止画としてキャプチャーしても十分使える。メモリーカードに記録できる機種の場合、テープに録画した動画を静止画としてビデオキャプチャーできるので便利だ。



DVカメラ側にUSB端子が装備されている機種もあり、USB経由で静止画をパソコンに転送できる。



デジカメにもっとも近いDVカメラ

SONY DCR-PC110

1/4型107万画素CCD搭載で、XGAサイズを超える高解像度でのDV静止画撮影をいち早く実現したPC100の改良版。スタイリッシュなタテ型フォルムを継承しつつ、低照度での静止画撮影に欠かせないインテリジェントフラッシュを内蔵。暗さを感知して、自動的にポップアップする。

また、MPEG1ムービー撮影機能に加わり、直接撮影するだけでなく、テープに録画した映像や外部アナログ入力の映像もMPEG1ムービーとしてメモリースティックに書き出せる。ただし、1クリップあたりの最大記録時間は320×240ドットで15秒、160×112ドットで60秒までの制限があり、この点はデジカメのサイバースhootと同じだ。

USB端子も装備し、メモリースティックに記録された静止画やMPEG1ムービーをパソコンに高速転送できる。アナログビデオ入力

の映像をリアルタイムにDV変換できるデジタル変換機能も搭載している。

レンズは光学10倍で、もはやソニー定番となったカールツァイスのパリオゾナーを搭載。しかも、T*コーティングと呼ばれるツァイスの誇る優秀なマルチコーティング処理が初めて施されており、逆光でもゴーストやフレアの少ないクリアな描写が得られるのが特徴だ。

手ブレ補正は電子式で、動画撮影時には107万画素CCDから有効69万画素のエリアを切り出し、手ブレ補正を行っている。これを34万画素に縮小して記録するので、非常にキレイの良い描写が得られる。大容量バッテリーを装着すれば、連続8時間のスタミナ撮影が可能。インテリジェントシューも装備して、外部マイクやビデオライトに本体から電源を供給できる点も秀逸だ。



| | |
|--------------------------|--|
| 価格 | 23万5,000円 |
| 付属品 | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル、レンズキャップ、レンズフードなど |
| URL | www.sony.co.jp/sd/consumer/ |
| 別売アクセサリーキット(ACCKIT-MM50) | |
| 価格 | 2万7,500円 |
| キット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、16MBメモリースティック |

世界最小、最軽量の高品位ボディが光る

Canon IXY DV

IXY DVは、世界最小、最軽量の縦型ボディを実現したスタイリッシュなDVだ。外装にはマグネシウム合金とアルミ合金を採用して、IXYブランドに共通する洗練された高級感が感じられる。本体重量は約390g、標準バッテリーやテープをセットした状態でも約470gと軽量なのが魅力だ。

撮影モードの切り替えは、電源スイッチを兼ねる大型のダイヤルで行うため直感的な操作が可能で、カバンの中などで不用意に電源が入ってバッテリーが消費しないよう、ダイヤルロックも備わっている。各種ボタンやスイッチ類も操作性を熟慮してレイアウトされているため自然な操作が可能だ。

レンズは光学10倍ズームで、手ブレ補正は電子式。1/4型68万画素CCDを搭載し、ここから36万画素のエリアを切り出し、手ブレを補正している。DVの記録能力を最大

限に活かせるスペックだ。

大半のDVカメラは、感度と解像感を重視して、色分解に補色フィルターを採用しているが、IXY DVは色再現性を重視して原色フィルターを採用している。また、全画素を一括して読み出せるプログレッシブスキャンCCDなので、静止画撮影時にはVGAサイズながら秒30コマの高速連写が行えるのが特徴だ。撮影した静止画はマルチメディアカードに記録される。また、このマルチメディアカードに記録した画像と撮影している画像を合成することも可能で、キヤノン販売のホームページから、イラストデータをダウンロードできる。

液晶ビューファインダーは11.3万画素で、最近のDVカメラとしてはやや物足りなさを感じるが、液晶モニターは2.5型ながら20万画素と緻密な表示が可能だ。



| | |
|---------------------|--|
| 価格 | 21万円 |
| 付属品 | ワイヤレスコントローラー、AV接続ケーブル、8MBマルチメディアカード |
| URL | www.canon.co.jp/DV/ |
| 別売アクセサリーキット(AK-410) | |
| 価格 | 2万円 |
| キット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、パワーアダプター、DCアダプター、ドッキングユニット、Sビデオケーブル |

Product Showcase



ムービーメール用動画メモリー機能搭載

Victor GR-DVX9

どんなにスタイリッシュなカメラでも、レンズキャップがかぶせ式だと、せっかくのデザインが台なしだ。DVX9は、レンズカバーをボディ内に内蔵していて、ファインダーを引き出すか、液晶モニターを開くかすると、レンズカバーが自動的に開き、電源もオンになる。とてもスマートな設計となっている。

レンズは光学10倍ズームで、手ブレ補正は電子式を採用。1/4型68万画素CCDから34万画素のエリアを切り出して手ブレを補正する。

また、静止画撮影時には、63万画素のエリアを使って、XGAサイズの静止画をマルチメディアカードに記録できる。メガピクセルCCD搭載機にはおよばないが、従来のVGAサイズのDV静止画よりも解像度が高い。オートフラッシュも内蔵していて、暗い場所になると自動発光する。動画、静止画

の同時記録ができるデュアル撮影モードも備えている(ただし、静止画はVGAサイズに制限される)。

テープに録画した映像を最大20秒までの動画ファイルとしてマルチメディアカードに書き出せる機能も搭載。160×120ドット、5フレーム/秒の動画ファイルで、ビクター独自形式で圧縮されているが、日本ビクターのホームページで再生プレイヤーやデコーダソフトが無料配布されている。

このほか、サウンドボタンを押すと、拍手、ファンファーレ、歓声、サイレンなど12種類のデジタル効果音を映像に加えられる機能も搭載。ビクターのホームページからサウンドデータをダウンロードすることも可能で、毎月続々と新しいサウンドデータが追加されている。なかなかユニークで楽しい機能とサービスだ。



| | |
|----------------------|--|
| 価格 | 23万円 |
| 付属品 | クリーニングクロスなど |
| | www.victor.co.jp/dvmain/ |
| 別売アクセサリキット(VU-X9KIT) | |
| 価格 | 2万8,000円 |
| キット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、8MBマルチメディアカード、ワイヤレスリモコン、ドッキングステーション、編集ケーブル、AV接続ケーブル、Sビデオ接続ケーブル、DCカバーなど |

レンズが回転する元祖ビューカムスタイル

SHARP VL-FD3

シャープの「液晶ビューカム」といえば、ビューファインダーがなく、レンズユニットと大型液晶モニターが自在に回転するという、独自のスタイルで一世を風靡したビデオカメラだ。しかし最近では、ビューカムスタイルを採用するビデオカメラも減ってきて、DVカメラではこのFDシリーズのみとなっている。

FD3の特徴は、22倍光学ズームと高感度ズーム運動マイク、そしてレンズユニットと液晶モニターが回転する独自のビューカムスタイルだ。しかも、本体内にレンズを収納できるリトラクタブル式レンズを採用していて、3.5型の液晶モニターも液晶面をクルッと内側に向けて収納できる。かばんのなかに無造作に入れておいても安心なケースレスの設計だ。

手ブレ補正は電子式で、1/4型68万画素CCDから34万画素のエリアを切り出し、手

ブレを補正する。また、静止画撮影時には、49万画素のエリアを1024×768ピクセルに変換して、SDカードあるいはマルチメディアカードに記録する。テープに動画を録画しながら、カードに静止画を記録できるデュアル撮影モードも搭載されているが、静止画の画像サイズはVGAのみで、テープに約1.5秒間の静止画が入る。

また、映像や音声などの設定を撮影シーンに合わせた状態に自動設定してくれる「イベントアジャスト」や、ズームやパンニングの練習ができるトレーニングなど、初心者にうれしい「ショットナビ機能」も搭載している。このほか、本体にD2映像出力端子を装備していて、プログレッシブTVのD端子につなげば、垂直走査線525本の映像を秒60コマで出力できるのも特徴だ。



| | |
|---------------------|---|
| 価格 | 23万円 |
| 付属品 | |
| | www.sharp.co.jp/viewcam/ |
| 別売アクセサリキット(VR-KTF3) | |
| 価格 | 2万5,000円 |
| キット内容 | ワイヤレスリモコン、リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、8MBマルチメディアカード、AV接続ケーブル、D端子ケーブル、DCカバー、ズームマイクなど |



ヨコ型のメガピクセルハンディカム

SONY DCR-TRV20

1/4型107万画素CCDを搭載したメガピクセルハンディカムで、トラディショナルなヨコ型シューティング(撮影)スタイルを採用。8時間の連続撮影が可能な大容量バッテリーを装着した場合も、見栄えが変わらず、重量バランスも崩れにくい。3.5型の大きな液晶モニターを装備し、24.6万ドットと高精細なのも魅力だ。


レンズは光学10倍ズームで、カルツァイスのパリオゾナーを採用しているが、レンズ内の不要な反射を抑えるT*コーティングは施されていない。手ブレ補正は電子式で、107万画素CCDから69万画素のエリアを切り出して手ブレを補正。これを34万画素に縮小してテープに記録しているのが、カチツとしたシャープさで写る。静止画撮影時は、107万画素CCDの大半の画素を使い、XGAを超える高解像度(1152×864ピクセル)

記録を実現した。なお、記録メディアはメモリスティックを使用する。

また、アナログビデオ入力の映像をリアルタイムにDV変換できるデジタル変換機能や、専用外部マイクやビデオのライトに本体から電源を供給できるインテリジェントシューも装備。DV端子を持つビデオ機器と接続して、最大20クリップまでプログラム編集ができるデジタルプログラム機能も搭載している。このあたりのスペックはPC110とまったく同じだ。

PC110にない機能はレックビューとエディットサーチが挙げられる。カメラモードのまま、最後に撮影したシーンを一時的に再生したり、正逆再生(ただし音声は再生されない)ができたりする機能だ。直前に撮ったシーンをリメイクしたいときに簡単にテープを頭出しできるので、あると便利な機能だ。




| | |
|---|--|
| 価格 | オープン価格 |
| 付属品 | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル、レンズキャップ、レンズフード、撮り方ビデオなど |
|  | www.sony.co.jp/sd/consumer/ |
| 別売アクセサリーキット (ACCKIT-MM70) | |
| 価格 | 3万2,000円 |
| キット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、16MBメモリスティック、お試しクリーニングキット |

SDメモリーカードの音楽再生にも対応

Panasonic NV-C7

パナソニック初のメガピクセルCCDモデル。1/3.8型102万画素CCDを搭載し、動画撮影時には41万画素のエリアを切り出して電子式の手ブレ補正を行い、静止画撮影時には84万画素のエリアを108万画素(1200×900ピクセル)に補完して出力している。ソニーのメガピクセルと同様、きわめてシャープな動画と、高解像度の静止画撮影が楽しめる機種だ。外付けのビデオフラッシュも用意されていて、本体から電源が供給されるため、バッテリーが不要でコンパクト。記録メディアは、SDメモリーカードとマルチメディアカードの両方に対応している。

また、ビデオカメラ初のSDメモリーカードでの音楽データ再生機能も搭載。AAC圧縮方式で記録された音楽データを内蔵スピーカーやヘッドフォンで楽しめる。ただし、SDメモリーカードにAAC圧縮方式で音楽データ


を録音するには、SDメモリーカード用のUSBカードリーダーまたはPCカードアダプターと、インターネット上の販売サイトPanaSense  で販売されている音楽管理ソフト「SD-Jukebox Ver2.0」が必要だ。

レンズは光学10倍ズームで、スタンバイ時0.3秒、撮影時0.8秒の瞬速ズームが自慢。最長23秒までの可変速ズームだ。液晶ビューファインダーは11万画素と、このクラスのDVカメラとしてはちょっともの足りないが、液晶モニターは3型20万画素のポリシリコン液晶が採用されている。

本体に取り付けるタイプでもっとも大容量のバッテリーを使用した場合には、約4時間50分の連続撮影が可能だ。また約15分間充電すれば1時間の撮影ができる急速充電もできる。

 www.sense.panasonic.co.jp



| | |
|---|--|
| 価格 | オープン価格 |
| 付属品 | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル、Sビデオ接続ケーブル、レンズキャップ、ショルダーベルトなど |
|  | www.panasonic.co.jp/avc/video/DIGICAM/ |
| 別売アクセサリーキット (VW-PDC7) | |
| 価格 | 2万8,000円 |
| キット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、急速充電対応ACアダプター、16MBマルチメディアカード、DCコード |

Product Showcase



業界最多の131万画素メガピクセルCCD搭載

SHARP VL-MX1

ビデオカメラではもっとも画素数の多い131万画素CCDを搭載。1280×960ピクセルと高解像度の静止画を撮影できる。静止画撮影時の有効画素数が125万画素と多く、画素補完などの水増し処理を行っていないのが特徴だ。記録メディアは、SDメモリーカードとマルチメディアカードの両方に対応する。

動画撮影時には、69万画素のエリアを切り出すことで電子式手ブレ補正を行い、これを縮小してテープに記録するので、非常にキレの良いシャープな描写が期待できる。レンズは光学10倍ズームで、望遠端までズームしてもF2.0と明るいのが魅力だ。

また、ズームレンズと連動して指向性が変化する高感度ズーム連動マイクを装着できる。外付け方式なので本体のメカノイズを拾いにくいのが魅力。映像だけでなく音に

もこだわりたい人にぴったりだ。

液晶モニターは3.5型20万画素。カメラ本体から液晶モニターを切り離すこともできる。別売の液晶モニターリモコンケーブルで接続すれば、手元の液晶モニターで被写体を見ながら、ケーブル付属のリモコンで操作して撮影ができる。ケーブルの長さは5mで、一脚などにカメラを取り付けてハイアングルでの撮影なども可能だ。

また、USB端子も装備していて、別売のUSB動画キットで、音声付き(ただし、音声ケーブルが必要)動画を320×240ドットのAVIとしてパソコンに取り込める。取り込んだ動画は、キット付属のビデオ編集ソフトで編集し、圧縮率の高いMPEG4に変換すれば、動画としては非常にコンパクトなサイズにできるので、電子メールやホームページ作りに活用できる。



| | |
|----------------------|---|
| 価格 | 23万5,000円 |
| 付属品 | - |
| | www.sharp.co.jp/viewcam/ |
| 別売アクセサリーキット(VR-KTX1) | |
| 価格 | 3万円 |
| キット内容 | ワイヤレスリモコン、リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、8MBマルチメディアカード、AV接続ケーブル、D端子ケーブル、DCカブラー、ズームマイク、静止画加工ソフトなど |

静止画の画質を向上するプログレッシブスキャンCCD

テレビの映像は、奇数フィールドと偶数フィールドの画面を1/60秒ごとに交互に描画している。いわゆるインターレース方式と呼ばれる表示方式だ。

奇数フィールドと偶数フィールドを重ね合わせた画面をフレームというが、静止画撮影ではフレームで読み出さないと、垂直方向の解像度が半減してしまう。しかし、奇数フィールドと偶数フィールドには1/60秒の時間的ずれがあるため、動きのある被写体はすだれ状にギザギザになってしまう。

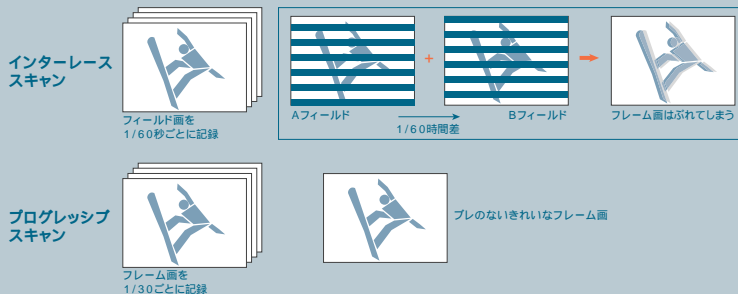
そのため、静止画撮影ではフレーム単位で画素データを一気に読み込む必要があるのだが、ビデオカメラのCCDは、基本的にフィールド単位でしか画素データを読み込めない構造になっている。

そこで、全画素を一括して読み込める

新タイプのCCDが開発された。それがプログレッシブスキャンCCDだ。プログレッシブスキャンCCDを搭載したDVカメラは、動画撮影時には動きがなめらかなフィールドで記録し、静止画や静止画取り込みを前提とした動画撮影時には解像度の高いフレームで記録するというように、必要に応じて使い分けができる。

また、従来型のCCDであっても、CCD

から画素データを読み込んでいる間、シャッターを閉じて、像が書き変わらないようにすることで、プログレッシブスキャンCCDと同等のフレーム読み込みが可能だ。プログレッシブスキャンCCDではないのに、プログレッシブ静止画対応などと謳われているDVカメラはこのタイプだ。ただし、動画撮影時にはプログレッシブ記録ができない点が異なっている。



プログレッシブスキャンCCDによる静止画画像は、高画質で、パソコンへの取り込みに最適だ。



究極の高画質を求めるなら やっぱり3CCDモデル

ホームビデオカメラといえども3CCD搭載機の画質は歴然と異なる。代表的な3機種を紹介しよう。

徹底的に画質にこだわるなら、3CCD方式のDVカメラがおすすめだ。一般的なDVカメラは、1枚のCCDでカラー撮影を行うために、1つ1つの画素に補色あるいは原色のカラーフィルターがモザイク状に貼られていて、これで色分解を行っている。当然、色の情報は画素数の1/3程度になってしまうので、演算によって補間している。これを単板型のCCDという。

これに対し、3CCD方式のDVカメラは、プリズムで色分解した光を3枚のCCDで個別に受けるので、画素数分の色情報が得られる。だから、単板CCDのカメラと比べると、色の再現性が良く、感度やS/N比も高いのだ。

単板と3CCDの違いがもっとも顕著なのが、室内など光量が不足するシーンだ。こうしたシーンでは、単板DVカメラはノイズが多くなり、色も薄くなってしまいがちだが、3CCDタイプのDVカメラは驚くほどノイズが少なく、色再現も美しい。その画質の高さは、放送局のサブカメラやVシネマなどの作品づくりにも使われているほどだ。

低価格に抑えられた3CCD機

Panasonic NV-MX3000

コンパクトな3CCDモデルで、価格も3CCDモデルとしては低めに抑えられている。ズームは光学12倍で、ドイツの名門カメラメーカー、ライカが認証したディコマールレンズを採用。ゴーストやフレアの発生を抑えるため、最適なマルチコートが施されている。手ブレ補正はもちろん光学式だ。

1/4型48万画素CCD(有効31万画素)を3

枚使用しているが、静止画撮影時には、3CCDで捉えた映像を垂直、水平に画素をずらすことで、132万画素という高解像度の静止画記録を実現。撮影した静止画は、SDメモリーカードがマルチメディアカードに記録する(メモリーカードは別売)。

また2月1日にはさらに廉価版の3CCD搭載モデルとしてNV-MX2000が登場する。総画素数41万画素、有効画素数38万画素のCCDを3枚使用。静止画サイズはMX3000より高解像度の168万画素(1488×1128ドット)を実現。価格は23万5000円。アクセサリキット(VW-PMX20)は3万円。



| | |
|----------------------|--|
| 価格 | 26万5,000円 |
| 付属品 | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル、Sビデオ接続ケーブル、レンズキャップ、ショルダーベルトなど |
| URL | www.panasonic.co.jp/avc/video/DIGICAM/ |
| 別売アクセサリキット(VW-PMX30) | |
| 価格 | 3万円 |
| キット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、急速充電対応ACアダプター、16MBマルチメディアカード、DCコードなど |

低照度下でもクリアな映像を保証

SONY DCR-VX2000

数多くの実績を持つVX1000の後継機。現在の技術で作られた1/3型38万画素CCDを3枚使用し、ホームビデオの域を超えた高画質を実現する。非常に感度が高く、足元がよく見えないほどの薄暗さでも、被写体をしっかり映し出す。レンズは光学12倍ズームを採用。手ブレ補正は光学式。レバーだけでなく、ズームリングによるズーム操作もできる。大容量バッテリーで9時間の連続撮影が可能だ。



| | |
|-----------------------|--|
| 価格 | 38万円 |
| 付属品 | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル、レンズフード、4MBメモリースティックなど |
| URL | www.sony.co.jp/sd/consumer/ |
| 別売アクセサリキット(ACCKIT-D9) | |
| 価格 | 3万1,000円 |
| キット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、お拭きクリーニングキット |

抜けのよいレンズ描写が他を圧倒

Canon XV1

色収差の補正に効果の高い蛍石を採用した高性能な光学20倍ズームを搭載。光学式手ブレ補正の効果と相まって、クリアで抜けの良い描写は他のDVカメラを圧倒する。1/4型27万画素CCDを3枚使用。画素数の少ないCCDを使うことで感度低下を防ぎ、画素ずらしの併用で、実質的な画素数を約1.5倍に高める。ハンドル部にもズームレバーやボタンが装備され、ローアングル撮影時には重宝する。



| | |
|--------------------|--|
| 価格 | 34万円 |
| 付属品 | ワイヤレスコントローラー、AV接続ケーブル、Sビデオ接続ケーブル、レンズフード、レンズキャップ |
| URL | www.canon.co.jp/DV/ |
| 別売アクセサリキット(AK-610) | |
| 価格 | 2万円 |
| キット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、パワーアダプター、DCカバー、ショルダーストラップ |

Product Showcase

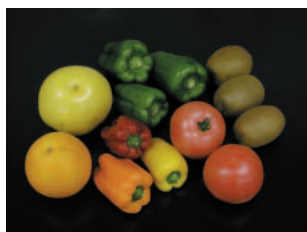


DVカメラ静止画画質一覧表

DVカメラでも動画だけでなく静止画を撮る機会も多い。静止画画質も選択のポイントだ。

都合によりシャープのDVカメラについては静止画を掲載していません。

ここでは記事中で大きく取り上げた製品の静止画像を掲載した。各色の発色やノイズの具合、画像のキレの良さなど、画質の違いを見てほしい。



比較用画像
(デジタルカメラで撮影)



SONY DCR-PC110



Canon IXY DV



Victor DVX9



SONY DCR-TRV20



Panasonic NV-C7



Panasonic NV-MX3000



SONY DCR-VX2000



Canon XV1

DV映像をインターネットで公開しよう

映像をインターネットで配信したり公開したりする方法としては、大きくわけて2つある。1つはストリーミング形式で、これは回線の速度や映像のサイズに応じて連続的にデータを送り出すものだ。ただし、配信には専用のサーバーソフトなどが必要で、それなりのコストも要する(くわしくは本号特集記事を参照)。もう1つは、映像ファイルを単純にサーバーにアップしておく方法だ。この場合、視聴者はいったんダウンロードしてから映像を視聴する。

映像ファイルには、RealVideo(リアルプレイヤー用) WMV(ウィンドウズメディ

アプレーヤー用) QuickTime(クイックタイムプレーヤー用)のほか、ウィンドウズ標準のAVIやMPEGなどの形式がある。

DVカメラから取り込んだDV映像を、これらの形式に保存し直すには、DV取り込みに使用するDV編集ソフトで行う。DV編集ソフトで必要な部分を切り出して、WMVなどの形式で保存し直す。映像のサイズは、ダウンロードに負担のかからないよう、320×240ドット程度にしておこう。作成した映像ファイルをサーバーにアップし、ウェブページなどにそのファイルへのリンクを張ればOKだ。



ウィンドウズMeに添付されている「ウィンドウズムービーメーカー」を使えば、簡単にDVカメラの映像をパソコンに取り込んで、WMV形式で保存することができる。カットをつなぎ合わせたり、音を付けたりするなどの編集も可能だ。



普及型クラスDVカメラ

気軽にDVを始めるなら、実売価格10万円台のエントリーモデルも見逃せない。

小型軽量モバイルハンディカム

SONY DCR-PC5

68万画素CCDを搭載したベーシックなDVハンディカム。光学10倍ズーム、電子式手ブレ補正機能を持つ。静止画の撮影サイズはVGAでメモリースティック

に記録する。DCR-PC5の特徴はなんとといっても小さく軽いこと。PC110よりひと回り小さく、重さも450gとハンディカムシリーズ中最軽量だ。



| | |
|--|--|
| 価格 | 21万円 |
| 付属品 | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル、レンズキャップ、撮り方ビデオ |
| www.sony.co.jp/sd/consumer/ | |
| 別売アクセサリキット(ACCKIT-MS11) | |
| 価格 | 2万4,500円 |
| キット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、16MBメモリースティック、お試しクリーニングキット |

アナログ入力対応のベーシックモデル

Panasonic NV-DB1

総画素数48万(有効画素数31万画素)CCDを搭載した簡単操作のDVカメラ入門機。レンズの光学ズーム倍率は12倍。電子式手ブレ補正機能を搭載してい

る。静止画はマルチメディアカードに記録する。入門機ながらアナログ入力に対応し、VHSの映像などをDVテープに保存できるのが便利だ。



| | |
|--|--|
| 価格 | オープン価格 |
| 付属品 | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル、Sビデオ接続ケーブル、レンズキャップ、ショルダーベルトなど |
| www.panasonic.co.jp/avc/video/DIGICAM/ | |
| 別売アクセサリキット(VW-PDB1) | |
| 価格 | 2万2,000円 |
| キット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター、DCコードなど |

機能十分のハイコストパフォーマンス機

Canon FV10

総画素数46万、有効画素数29万のCCDを採用した、操作の簡単なコストパフォーマンスの高いDVカメラ。ズームは光学で10倍、デジタルで200倍と高倍

率を誇る。手ブレ補正は電子式。メモリーカードの装着はできないが静止画の撮影は可能。VHSなどのアナログ映像の入力機能も備える。



| | |
|--|--|
| 価格 | 14万5,000円 |
| 付属品 | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル |
| www.canon.co.jp/DV/ | |
| 別売アクセサリキット(AK-510) | |
| 価格 | 1万6,000円 |
| キット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、ショルダーストラップ |

プログレッシブモードを採用

Panasonic NV-C3

総画素数48万画素、有効画素数31万画素のCCDは高感度で、低照度下でもノイズが少ないのが特徴。手ブレ補正機能は電子式。また、プログレッシブモ

ードの採用により、高解像度の静止画をパソコンに取り込める。静止画はマルチメディアカードに記録する。コンパクトなボディも特徴だ。



| | |
|--|---|
| 価格 | オープン価格 |
| 付属品 | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル、Sビデオ接続ケーブル、レンズキャップ、4MBマルチメディアカードなど |
| www.panasonic.co.jp/avc/video/DIGICAM/ | |
| 別売アクセサリキット(VW-PDC3) | |
| 価格 | 2万2,000円 |
| キット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター、DCコード、AVワンタッチステーションなど |

192万画素の静止画撮影ができる

Victor GR-DV2000

68万画素のプログレッシブCCDを搭載したプロシューマーを意識した作りのDVカメラ。水平解像度520本の非常に解像度の高い動画撮影が可能だ。また、静止画撮影においても、プログレッシブ機能により、画素を1/2ずらすことで192万画素、つまりUXGAサイズ(1600×1200ドット)の高精細画像の撮影を

実現。200万画素デジカメ並みの解像度を誇る。また動画と静止画の同時記録が行えるため、瞬間的なシャッターチャンスにも強い。静止画の記録メディアは、マルチメディアカードとSDメモリーカードに対応。またUSBインターフェイスも備えているため、パソコンへの静止画転送が容易だ。



| | |
|--|---|
| 価格 | 23万5,000円 |
| 付属品 | レンズフード |
| www.victor.co.jp/dvmain/ | |
| 別売アクセサリキット(VU-V2000KIT) | |
| 価格 | 2万8,000円 |
| キット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、8MBマルチメディアカード、ワイヤレスリモコン、編集ケーブル、AV接続ケーブル、Sビデオ接続ケーブル、DCカブラーなど |

Product Showcase



DVカメラ主要機能一覧表

| 製品名 | DCR-PC110 | IXY DV | GR-DVX9 | VL-F03 | DCR-TRV20 | NV-C7 |
|---|---|--|---|---|--|--|
| | | | | | | |
| 発売元 | ソニーマーケティング(株) | キヤノン販売(株) | 日本ビクター(株) | シャープ(株) | ソニーマーケティング(株) | 松下電器産業(株) |
| 問い合わせ先 | 0570-00-3311 | 03-3455-9353 | 03-5684-9311 | 043-297-4649 | 0570-00-3311 | 0120-878-365 |
| 標準価格 | 235,000円 | 210,000円 | 230,000円 | 230,000円 | 230,000円 | 235,000円 |
| アクセサリキット標準価格 | ACCKIT-MM50 27,500円 | AK-410 20,000円 | VU-X9KIT 28,000円 | VR-KTF3 25,000円 | ACCKIT-MM70 32,000円 | VW-PDC7 28,000円 |
| CCD | 1/4型107万画素 | 1/4型68万画素 プログレッシブ | 1/4型68万画素 プログレッシブ | 1/4型68万画素 プログレッシブ | 1/4型107万画素 | 1/3.8型102万画素 |
| 有効画素数 | 動画69万画素、静止画100万画素 | 36万画素 | 動画34万画素、静止画63万画素 | 49万画素 | 動画69万画素、静止画100万画素 | 動画41万画素、静止画100万画素 |
| レンズ焦点距離(35mm相当) | カメラモード時48~480mm、メモリーモード時40~400mm | 44.7~447mm | 48.4~488mm | 45.8~1007mm | 41~492mm | 34~340mm |
| ズーム倍率(光学式/電子式) | 10倍(120倍) | 10倍(40倍) | 10倍(200倍) | 22倍(500倍) | 10倍(120倍) | 10倍(25倍、100倍) |
| フィルター径 | 37mm | 27mm | 27mm | 37mm | 37mm | 37mm |
| 手ブレ補正方式 | 電子式 | 電子式 | 電子式 | 電子式 | 電子式 | 電子式 |
| フラッシュ内蔵 | - | - | - | - | - | - |
| プログレッシブ静止画撮影機能 | - | - | - | - | - | - |
| 静止画記録サイズ(ドット) | 640 x 480、1152 x 864 | 640 x 480 | 640 x 480、1024 x 724 | 640 x 480、800 x 600、1024 x 768 | 640 x 480、1152 x 864 | 640 x 480、1200 x 900 |
| 対応メモリーカード | メモリースティック | マルチメディアカード | マルチメディアカード | SDメモリーカード、マルチメディアカード | メモリースティック | SDメモリーカード、マルチメディアカード |
| 液晶モニターサイズ | 2.5型 | 2.5型 | 2.5型 | 3.5型 | 3.5型 | 3型 |
| アナログビデオ入力 | - | - | - | - | - | - |
| アナログコンバーター機能 | - | - | - | - | - | - |
| 連続撮影時間(ビューファインダーオン/液晶モニターオフ) ¹ | 約2時間15分 | 55分 | 約1時間 | - | 約4時間35分 | 約2時間50分 |
| 連続撮影時間(ビューファインダーオフ/液晶モニターオン) ¹ | 約1時間55分 | 45分 | 約50分 | 約2時間10分 ² | 約3時間45分 | 約2時間15分 |
| サイズW x H x D(mm) | 60 x 122 x 122 | 48 x 106 x 86 | 51 x 125 x 97 | 162 x 100 x 63 | 71 x 93 x 170 | 68 x 86 x 159 |
| 重量 | 約590g | 約390g | 約515g | 約630g | 約680g | 約540g |
| 付属品 | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル、レンズキャップ、レンズフードなど | ワイヤレスコントローラー、AV接続ケーブル、8MBマルチメディアカード | クリーニングクロスなど | リチウム電池、三脚アダプター | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル、レンズキャップ、レンズフード、握り方ビデオなど | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル、Sビデオ接続ケーブル、レンズキャップ、ショルダーベルトなど |
| アクセサリキット内容 | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、16MBメモリースティック | リチャージャブルバッテリーパック、パワーアダプター、DCアダプター、ドッキングユニット、Sビデオケーブル | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、8MBマルチメディアカード、ワイヤレスリモコン、ドッキングステーション | ワイヤレスリモコン、リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、8MBマルチメディアカード、AV接続ケーブル、D端 | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、16MBメモリースティック、お試しクリーニングキット | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、16MBマルチメディアカード、DCコード |

| 製品名 | VL-MX1 | NV-MX3000 | DCR-VX2000 | XV1 | GR-DV2000 |
|---|---|---|--|---|---|
| | | | | | |
| 発売元 | シャープ(株) | 松下電器産業(株) | ソニーマーケティング(株) | キヤノン販売(株) | 日本ビクター(株) |
| 問い合わせ先 | 043-297-4649 | 0120-878-365 | 0570-00-3311 | 03-3455-9353 | 03-5684-9311 |
| 標準価格 | 235,000円 | 265,000円 | 380,000円 | 340,000円 | 235,000円 |
| アクセサリキット標準価格 | VR-KTX1 30,000円 | VW-PMX30 30,000円 | ACCKIT-D9 31,000円 | AK-610 20,000円 | VU-V2000KIT 28,000円 |
| CCD | 1/3.6型133万画素 | 1/4型48万画素 x 3 | 1/3型38万画素 x 3 | 1/4型27万画素 x 3 | 1/4型68万画素 プログレッシブ |
| 有効画素数 | 69万画素 | 動画31万画素 x 3、静止画32万画素 x 3 | 34万画素 x 3 | 25万画素 x 3 | 動画34万画素、静止画63万画素または192万画素 |
| レンズ焦点距離(35mm相当) | 48~480mm | 40~480mm | 43.2~518.4mm | 39.5~790mm | 48.4~488mm |
| ズーム倍率(光学式/電子式) | 10倍(200倍) | 12倍(30倍、120倍) | 12倍(48倍) | 20倍(40倍、100倍) | 10倍(200倍) |
| フィルター径 | 46mm | 43mm | 58mm | 52mm | 52mm |
| 手ブレ補正方式 | 電子式 | 光学式 | 光学式 | 光学式 | 電子式 |
| フラッシュ内蔵 | - | - | - | - | - |
| プログレッシブ静止画撮影機能 | - | - | - | - | - |
| 静止画記録サイズ(ドット) | 640 x 480、1280 x 960 | 640 x 480、1360 x 968 | 640 x 480 | 640 x 480、1024 x 724、1600 x 1200 | 640 x 480、1280 x 960 |
| 対応メモリーカード | SDメモリーカード、マルチメディアカード | SDメモリーカード、マルチメディアカード | メモリースティック | - | マルチメディアカード |
| 液晶モニターサイズ | 3.5型 | 2.5型 | 2.5型 | 2.5型 | 3.5型 |
| アナログビデオ入力 | - | - | - | - | - |
| アナログコンバーター機能 | - | - | - | - | - |
| 連続撮影時間(ビューファインダーオン/液晶モニターオフ) ¹ | 約4時間20分 | 約2時間5分 | 約9時間35分 | 約65分 | 約2時間30分 |
| 連続撮影時間(ビューファインダーオフ/液晶モニターオン) ¹ | 約3時間40分 | 約1時間50分 | 約8時間 | 約60分 | 約2時間10分 |
| サイズW x H x D(mm) | 66 x 89.5 x 200 | 75 x 113 x 187 | 115 x 145 x 342 | 117 x 135 x 272 | 74 x 90 x 178 |
| 重量(g) | 約885g | 約690g | 約1.4kg | 約1.25kg | 約660g |
| 付属品 | リチウム電池、レンズフード | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル、Sビデオ接続ケーブル、レンズキャップ、ショルダーベルトなど | ワイヤレスリモコン、AV接続ケーブル、レンズフード、4MBメモリースティックなど | ワイヤレスコントローラー、AV接続ケーブル、Sビデオ接続ケーブル、レンズフード、レンズキャップ | レンズフード |
| アクセサリキット内容 | ワイヤレスリモコン、リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、8MBマルチメディアカード、AV接続ケーブル、D端子ケーブル、DCカプラー、ズームマイク、静止画加工ソフトなど | リチャージャブルバッテリーパック、急速充電対応ACアダプター、16MBマルチメディアカード、DCコード | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、お試しクリーニングキット | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、お試しクリーニングキット | リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャー、8MBマルチメディアカード、ワイヤレスリモコン、編集ケーブル、AV接続ケーブル、Sビデオ接続ケーブル、DCカプラー |

¹ アクセサリキット付属のバッテリー使用時 ² 液晶モニター使用時(液晶ファインダーはない)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp